

結核年報2013 (1) 結核発生動向概況・外国生まれ結核

結核研究所疫学情報センター

キーワード：結核，人口10万対登録者数，出生国，職業

はじめに

結核研究所疫学情報センターは，全国保健所で入力された結核登録者情報調査から，わが国の結核患者の登録状況を集計・解析し，「結核の統計」として毎年発表している。2013年度分については，(1) 結核発生動向概況・外国生まれ結核，(2) 小児結核・高齢者結核，(3) 患者発見・診断時病状，(4) 治療・治療成績，の4回にまとめて報告する予定である。

2012年以降は，「結核に関する特定感染症予防指針」²⁾に準じた結核発病ハイリスク対策の一環として，それまでの国籍情報についての入力項目が出生国（日本生まれ・外国生まれ）に変更された。登録結核患者が外国生まれの場合，入国時期と出生国名の情報が入力されるようになっている。なお，4回の本シリーズにおける新登録結核患者数には，潜在性結核感染症（Latent Tuberculosis Infection, LTBI）患者は含めない。

結核患者発生動向

(1) 人口10万対年間新結核患者登録者数（新登録率）の年次推移（図1）

図1に，1962年以降における全結核および喀痰塗抹陽性肺結核の人口10万対年間新患者登録者数年次推移を示す。2013年の人口10万対新全結核患者登録者数（新全結核登録率）は16.1（患者数20,495人）で，前年16.7（患者数21,283人）からの減少率は3.5%であった。2011年から2012年での減少率6.0%と比較して小さな減少率を示した。過去5年間（2009年から2013年）における各前年と比較した新全結核登録率の平均年間減少率は約3.6%であった。

人口10万対喀痰塗抹陽性肺結核（初回治療＋再治療）登録患者数（喀痰塗抹陽性肺結核登録率）は，2000年以降全結核患者登録率と同様に減少している。2012年から2013年の同登録率は6.5（患者数8,237人）から6.4（患者数8,119）になり，減少率は1.3%であった。

(2) 新登録結核患者数・率の性・年齢分布（図2・表1）

図2は，性・5歳年齢階層別の新登録結核患者数の分布を，2003年と2013年で比較したものである。2003年で比較的是っきりとしていた成人若年層での山は2013年においては低くなり，高齢者層の山はより高齢の年齢

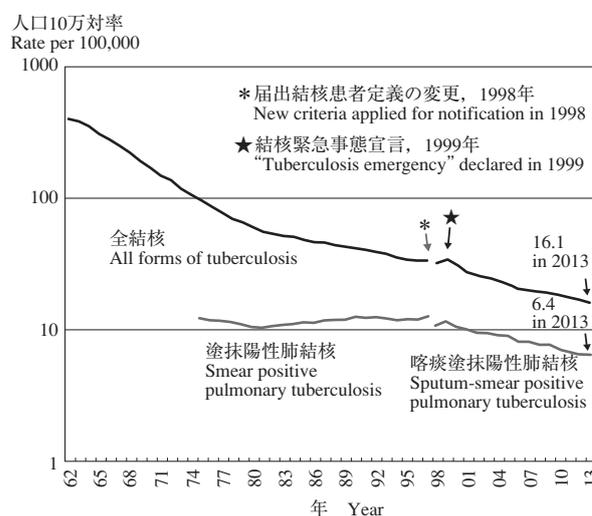


図1 人口10万対年間新結核患者登録数（登録率）の年次推移，1962～2013年

Fig. 1 Annual trend of tuberculosis notification rate (all forms, sputum-smear positive pulmonary tuberculosis) per 100,000 population in Japan, 1962-2013

表1 新登録結核患者数(全結核, 初回治療・再治療別, 肺結核・肺外結核別), 年齢階層別, 2011~2013年
Table 1 Number of newly notified tuberculosis patients (all forms, new and re-treatment, pulmonary and extra-pulmonary), by age group, in Japan, 2011-2013

年齢階層 Age group	新登録全結核患者数 Tuberculosis notifications, all forms (*1)			新全結核患者登録率(罹患率) Tuberculosis notification rates, all forms (*2)			初回治療結核 New tuberculosis						再治療結核 Re-treatment tuberculosis																	
	2011	2012	2013	2011	2012	2013	肺結核 Pulmonary tuberculosis	肺外結核 Extra-pulmonary tuberculosis	陰性肺結核 Sputum-sneer negative	陽性肺結核 Sputum-sneer positive	その他菌陽性肺結核 Other bacteriologically positive	菌検査結果不明 Bacteriological test results unknown	肺結核 Pulmonary tuberculosis	肺外結核 Extra-pulmonary tuberculosis	陰性肺結核 Sputum-sneer negative	陽性肺結核 Sputum-sneer positive	その他菌陽性肺結核 Other bacteriologically positive	菌検査結果不明 Bacteriological test results unknown	肺外結核 Extra-pulmonary tuberculosis											
総数 Total	22,681	21,283	20,495	18	17	16	5,363	5,350	5,174	2,619	2,132	2,041	4,826	4,609	4,274	717	574	535	408	336	296	204	162	163	22	22	19	336	242	249
0-14	84	63	66	0.5	0.4	0.4	0	0	14	32	30	26	22	16	20	0	1	0	0	0	0	3	1	3	0	0	0	1	1	1
15-19	157	165	165	2.6	2.7	2.7	40	40	37	35	46	45	15	23	21	3	2	5	0	5	1	2	4	5	2	2	1	1	1	2
20-29	1,417	1,288	1,196	10.4	9.7	9.1	347	345	346	358	304	302	189	188	144	13	17	12	18	18	16	14	16	7	3	2	2	16	13	7
30-39	1,718	1,528	1,317	9.6	8.9	7.9	423	393	379	408	310	261	270	258	200	26	25	19	20	19	13	12	14	15	1	2	1	33	19	19
40-49	1,820	1,600	1,496	10.5	9.1	8.3	442	428	418	323	244	227	338	286	266	33	41	28	25	28	12	14	13	10	4	1	2	25	23	22
50-59	2,049	1,795	1,665	12.8	11.5	10.8	514	495	442	296	239	207	344	323	270	48	49	57	35	28	34	25	21	18	3	3	3	17	16	26
60-69	3,232	3,012	2,833	17.5	16.3	15.4	1,134	1,083	1,045	402	306	283	685	644	556	107	78	74	65	55	41	47	33	41	3	5	5	46	28	43
70-79	4,875	4,595	4,359	36.6	33.7	31.4	1,649	1,657	1,572	402	333	340	1,254	1,163	1,081	168	144	110	103	80	75	52	27	29	5	2	4	77	71	54
80-89	5,897	5,753	5,856	82.8	77.6	76.2	2,286	2,339	2,426	302	261	290	1,375	1,357	1,354	278	193	184	120	87	85	30	28	29	0	2	1	110	63	63
90+	1,432	1,484	1,542	99.1	97.1	95.6	340	366	379	61	59	60	334	351	362	41	24	46	22	16	18	5	5	6	1	0	0	10	7	12

*1: "All forms" include new and re-treatment tuberculosis patients. *2: 人口10万対率 Rate per 100,000 population.

層へと移動する傾向を認めた。

表1に, 新登録全結核患者数および人口10万対新全結核登録者数, 初回治療・再治療結核患者数, 肺結核・肺外結核患者数について, 過去3年間分を年齢階層別に示す。小児(15歳未満)の新登録全結核患者数は2006年以降100人を下回っており, 2013年は66人となった。一方, 患者の高齢化傾向はさらに進み, 全結核登録者数のうち, 60歳以上が71.2%(前年69.7%), 70歳以上が57.4%(前年55.6%), 80歳以上が36.1%(前年34.0%)を占めるようになってきている。2011年から2013年までの年齢階層別人口10万対新全結核患者登録者数では, 20歳以上80歳未満の各年齢階層で減少傾向を示したが, 20歳未満では横ばい, 80歳以上では増加傾向を認めた。初回治療結核患者のうち, より感染性の強い喀痰塗抹陰性肺結核患者数の年齢階層別推移では, 80歳以上の年齢層での増加傾向は, 前年と同様であった。2011年から2013年までの再治療結核患者数の総数は減少傾向を認め, 50歳代と90歳以上との年齢階層を除いた20歳以上の各年齢階層において減少傾向を認めた。

(3) 新登録潜在性結核感染症(LTBI)登録者数(表2)

新登録潜在性結核感染症登録者数は, 2010年4,930人から2011年10,046人に著増したが, 2012年(8,771人)以降減少傾向を認めており, 2013年は7,147人で, 18.5%減少した。女性の男性に対する比が高い傾向は2013年も継続し, 1.3であった。前年同様に, LTBI登録患者における看護師・保健師が, 全体の17.9%(1,277人)を占

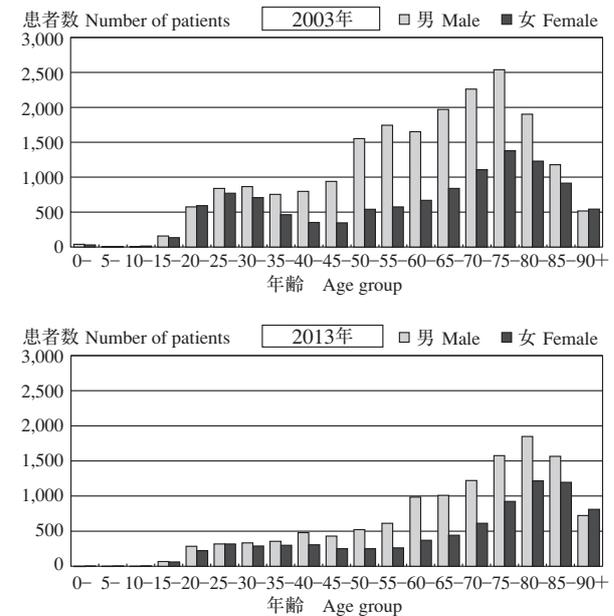


図2 新登録結核患者数の年齢分布, 性別, 2003年・2013年
Fig. 2 Age distribution of newly notified tuberculosis patients by sex in Japan, in 2003 and in 2013

表2 新登録潜在性結核感染症登録者数，性・年齢階層別，2011～2013年
Table 2 Newly notified latent tuberculosis infection (LTBI) patients, by sex and age group, in Japan, from 2011 to 2013

年齢 Age group	2011年					2012年					2013年				
	総数 Total	性 Sex		割合 (%)	女/男 Ratio of F/M	総数 Total	性 Sex		割合 (%)	女/男 Ratio of F/M	総数 Total	性 Sex		割合 (%)	女/男 Ratio of F/M
		男 Males	女 Females				男 Males	女 Females				男 Males	女 Females		
総数 Total	10,046	3,966	6,080	100	1.5	8,771	3,470	5,301	100	1.5	7,147	3,094	4,053	100	1.3
0-4	542	251	291	5.4	1.2	499	230	269	5.7	1.2	493	246	247	6.9	1.0
5-9	182	92	90	1.8	1.0	219	116	103	2.5	0.9	163	75	88	2.3	1.2
10-14	233	97	136	2.3	1.4	177	90	87	2.0	1.0	202	97	105	2.8	1.1
15-19	327	165	162	3.3	1.0	276	129	147	3.1	1.1	188	97	91	2.6	0.9
20-24	864	257	607	8.6	2.4	753	211	542	8.6	2.6	426	147	279	6.0	1.9
25-29	1,080	379	701	10.8	1.8	879	305	574	10.0	1.9	621	251	370	8.7	1.5
30-34	1,084	408	676	10.8	1.7	876	311	565	10.0	1.8	564	218	346	7.9	1.6
35-39	1,152	448	704	11.5	1.6	893	350	543	10.2	1.6	638	258	380	8.9	1.5
40-44	989	374	615	9.8	1.6	913	315	598	10.4	1.9	649	259	390	9.1	1.5
45-49	923	325	598	9.2	1.8	768	308	460	8.8	1.5	637	255	382	8.9	1.5
50-54	773	278	495	7.7	1.8	701	251	450	8.0	1.8	600	222	378	8.4	1.7
55-59	683	289	394	6.8	1.4	621	261	360	7.1	1.4	573	229	344	8.0	1.5
60-64	577	279	298	5.7	1.1	549	256	293	6.3	1.1	498	250	248	7.0	1.0
65-69	269	134	135	2.7	1.0	256	153	103	2.9	0.7	321	169	152	4.5	0.9
70+	368	190	178	3.7	0.9	391	184	207	4.5	1.1	574	321	253	8.0	0.8

Ratio of F/M: Ratio of female patients to male patients
%: proportion

めていることが、女性／男性比が高い原因の一つと考えられる³⁾。2013年の50歳以上におけるLTBI登録者数は、前年とあまり変わらなかったが、全体のLTBI登録患者数中で50歳以上が占める割合は、全体で2012年28.7%から2013年35.9%に、男性で31.8%から38.5%に、女性で26.7%から33.9%と増加傾向を示した。50歳以上の年齢階層におけるLTBI登録者数割合の増加傾向は、2010年の「結核の接触者健康診断の手引き」改訂⁴⁾によるLTBI治療対象年齢制限の撤廃、2011年の結核に関する特定感染症予防指針の一部改正⁵⁾や「潜在性結核感染症治療指針」によるより積極的なLTBI治療の推進⁶⁾等が影響している可能性がある。

(4) 肺外結核 (表3)

肺外結核の部位で最も多いのは結核性胸膜炎 (3,634人)、次いで他のリンパ節結核 (972人) であるのは2012年と同様であった。重症の肺外結核である結核性髄膜炎は2013年に181人と、前年の152人より増加し、粟粒結核も2013年に635人と前年の608人よりも増加していたが、近年でみると横ばい傾向であった。脊椎結核は毎年220人前後で推移しており、はっきりとした減少傾向は認められない。結核の活動性分類で肺結核として分類されている気管支結核は⁷⁾、2007年以降の増加傾向から、2012年 (107人) には減少に転じたが、2013年には再度増加した (131人)。

外国生まれ結核

(1) 外国生まれ新登録結核患者数の年次推移と性・年

年齢階層別分布 (表4・図3)

外国籍結核患者 (1998年～2011年)、もしくは外国生まれの新登録結核患者数 (2012年以降) は、1998年の739人以降緩やかな増加傾向にあり、2013年は1,064人であった。保健所において結核サーベイランスに国籍に関する情報を入力することが徹底されてきたこともあり、国籍不明の結核患者は1998年以降大幅に減少してきたが、2011年より増加に転じている。

国籍・出生国不明を除いた全患者に占める外国生まれ結核患者の割合も増加している (1998年2.1%から2013年5.4%)。性比に関しては大きな変化はなく、2013年の外国生まれ結核患者の女性／男性比は1.3であった。また年齢階層別では、1998年以降、外国生まれ患者に占める20歳代の割合が最も高い状態で推移しており、2013年にはその割合は46.4% (1,064人中494人) であった (表に示さず)。20歳代新登録結核患者数 (出生国不明を除く) のうち外国生まれ患者数の占める割合も増加を続け、2013年は42.7% (1,157人中494人) に達した。

(2) 入国時期別・国別外国生まれ患者数 (図4・表5)

2013年の入国時期別外国生まれ患者割合を見ると、最近5年以内に入国した人の割合が全年齢層で40.6%であるが、10歳代では61.5%、20歳代では61.3%と過半数を占めた。この割合は、30歳代では27.6%、40歳代では10.2%と減少する。出生国別の患者数では、中国 (292人、27.4%) とフィリピン (256人、24.1%) の2カ国で約半数を占め、次いでベトナム、ネパール、韓国の順であった。なお、2012年度同様に5年以内に入国した外国人

表3 新登録結核患者数，結核病類別，性・年齢階層別，1998～2013年

Table 3 Newly notified tuberculosis patients by affected organ, sex and age group, in Japan, from 1998 to 2013

性・年齢 2013年 Sex, Age group, in 2013	全結核 Tuberculosis notifications, all forms	肺結核 Pulmonary tuberculosis		肺外結核 Extra-pulmonary tuberculosis																	
		肺 Lungs	気管支 Bronchi	咽頭・ 喉頭 Phar- ynx/ Larynx	粟粒 Miliary	胸膜炎 Pleural	膿胸 Empy- ema	肺門リン パ節 Hilar lymph nodes	他のリン パ節 Other lymph nodes	髄膜炎 Menin- ges	腸 Intes- tines	脊椎 Verte- brae	他の骨 関節 Other joints/ bones	腎・ 尿路 Kidney/ Urinary tracts	性器 Geni- tals	皮膚 Skins	眼 Eyes	耳 Ears	腹膜炎 Perito- neum	心膜炎 Pericar- dium	他の 臓器 Other organs
総数 Total	20,495	16,380	131	34	635	3,634	48	128	972	181	298	228	138	74	29	87	22	17	190	87	153
男 Male	12,504	10,342	55	15	234	2,513	37	60	282	112	129	108	71	39	19	36	13	5	91	64	78
女 Female	7,991	6,038	76	19	401	1,121	11	68	690	69	169	120	67	35	10	51	9	12	99	23	75
0-14	66	47	0	0	0	10	0	9	4	2	0	0	2	0	1	0	1	1	0	0	0
15-19	165	143	2	0	4	13	0	1	6	2	2	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0
20-29	1,196	1,049	7	1	9	143	0	13	75	9	11	8	6	0	1	2	2	1	13	0	4
30-39	1,317	1,108	12	2	21	145	0	11	92	20	22	9	9	6	0	4	4	2	11	4	12
40-49	1,496	1,226	10	4	15	185	6	14	98	24	38	15	6	6	5	1	5	1	10	2	16
50-59	1,665	1,381	14	11	23	219	3	12	81	15	42	13	8	7	4	2	3	2	16	5	18
60-69	2,833	2,265	11	7	59	408	8	22	160	26	58	35	23	13	8	15	3	4	25	9	28
70-79	4,359	3,313	42	4	151	823	13	27	241	49	66	63	28	21	6	29	2	5	55	26	39
80-89	5,856	4,622	32	5	272	1,309	13	14	182	28	56	75	48	18	4	26	2	0	53	34	27
90+	1,542	1,226	1	0	81	379	5	5	33	6	3	10	7	3	1	7	0	1	6	7	9
年 Year	総数 Total																				
1998	41,033	33,981	-	-	505	5,125	251	136	1,469	154	335	385	328	227	78	100	12	25	-	-	692
1999	43,818	36,190	-	-	603	5,586	221	143	1,538	163	345	334	300	179	96	94	13	28	-	-	684
2000	39,384	32,338	-	-	597	5,108	202	123	1,432	158	356	319	272	181	72	123	16	38	-	-	656
2001	35,489	28,868	-	-	642	4,840	162	102	1,368	177	275	276	274	172	72	104	11	25	-	-	619
2002	32,828	26,472	-	-	626	4,666	152	84	1,269	188	323	299	222	148	66	100	19	29	-	-	544
2003	31,638	25,478	-	-	639	4,539	142	83	1,341	149	276	268	223	144	47	87	15	28	-	-	570
2004	29,736	23,829	-	-	617	4,491	125	70	1,293	160	299	275	220	112	53	95	13	30	-	-	564
2005	28,319	22,655	-	-	585	4,338	115	88	1,151	180	296	233	201	130	37	98	11	33	-	-	536
2006	26,384	20,856	-	-	616	4,192	97	79	1,191	127	263	248	231	112	40	109	9	24	-	-	554
2007	25,311	20,264	108	31	602	4,134	75	57	1,186	153	328	232	190	108	34	92	19	18	92	61	281
2008	24,760	19,780	117	43	570	4,001	78	68	1,194	171	292	273	170	121	34	92	13	29	144	80	181
2009	24,170	19,278	121	36	604	3,940	63	73	1,221	162	321	241	182	100	23	121	26	22	168	88	179
2010	23,261	18,735	127	53	598	3,959	48	74	1,158	138	330	239	159	88	35	97	29	12	154	76	171
2011	22,681	17,969	129	57	695	3,929	52	70	1,199	156	317	250	145	83	22	89	27	21	173	89	187
2012	21,283	16,826	107	46	608	3,653	63	134	1,038	152	348	255	157	82	20	97	34	16	176	80	166
2013	20,495	16,380	131	34	635	3,634	48	128	972	181	298	228	138	74	29	87	22	17	190	87	153

注：結核病類は重複あり Note: Cases having multiple organs are counted independently.

表4 新登録全結核患者の発生动向年次推移，国籍または出生国別，性別，1998～2013年

Table 4 Annual trend of newly notified tuberculosis patients by nationality or country of birth, and by sex, from 1998 to 2013

暦年 Year	新登録全結核 患者数 Number of newly notified tuber- culosis patients, all forms	日本生まれ Born in Japan	外国籍もしくは 外国生まれ Foreign nationalities or foreign-borns (*1)	国籍または 出生国不明 Nationalities or country of birth unknown	外国生まれ 割合 (%) Proportion of foreign-borns (%) (*2)	性 Sex (*3)		女/男 (比) Ratio of Females to Males
						男 Males	女 Females	
1998	41,033	34,382	739	5,912	2.1	365	374	1.0
1999	43,818	37,094	821	5,903	2.2	415	406	1.0
2000	39,384	33,720	837	4,827	2.4	436	401	0.9
2001	35,489	30,305	866	4,318	2.8	442	424	1.0
2002	32,828	28,667	824	3,337	2.8	411	413	1.0
2003	31,638	27,665	906	3,067	3.2	433	473	1.1
2004	29,736	26,205	931	2,600	3.4	479	452	0.9
2005	28,319	25,247	923	2,149	3.5	438	485	1.1
2006	26,384	23,505	920	1,959	3.8	444	476	1.1
2007	25,311	23,451	842	1,018	3.5	364	478	1.3
2008	24,760	23,163	945	652	3.9	416	529	1.3
2009	24,170	22,808	938	424	4.0	414	524	1.3
2010	23,261	21,976	952	333	4.2	424	528	1.2
2011	22,681	21,372	921	388	4.1	416	505	1.2
2012	21,283	19,555	1,069	659	5.2	474	595	1.3
2013	20,495	18,589	1,064	842	5.4	468	596	1.3

*1: 2011年までは外国籍結核患者数，2012年以降外国生まれ結核患者数。
Number of tuberculosis patients with foreign nationalities until 2011, number of foreign-born patients afterwards.

*2: 2011年までは外国籍患者割合，2012年以降外国生まれ患者割合（国籍または出生国不明を除く）。
Proportion of tuberculosis patients with foreign nationalities until 2011, proportion of foreign-born patients afterwards, excluding those of unknown nationality or country of birth.

*3: 外国籍または外国生まれにおける性別。
Sex distribution among foreign nationalities or foreign-borns.

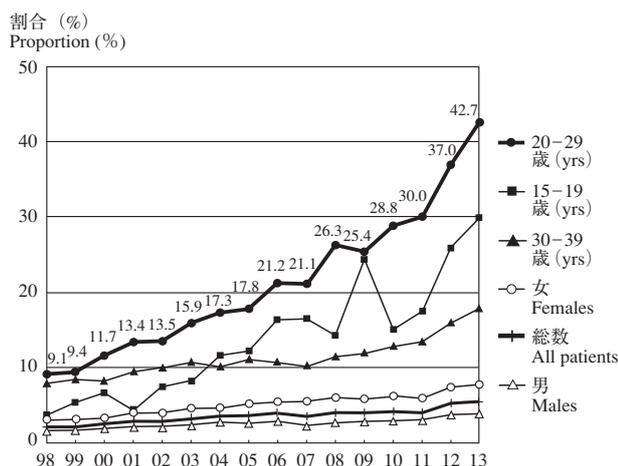


図3 新登録結核患者に占める外国生まれ結核患者割合の推移、性別・特定年齢階層別、1998～2013年

Fig. 3 Annual trend of proportion of foreign-born among newly notified tuberculosis patients, by sex and age group, from 1998 to 2013

割合：国籍または出生国不明を除く Those whose country of birth is unknown are excluded from the numerator.

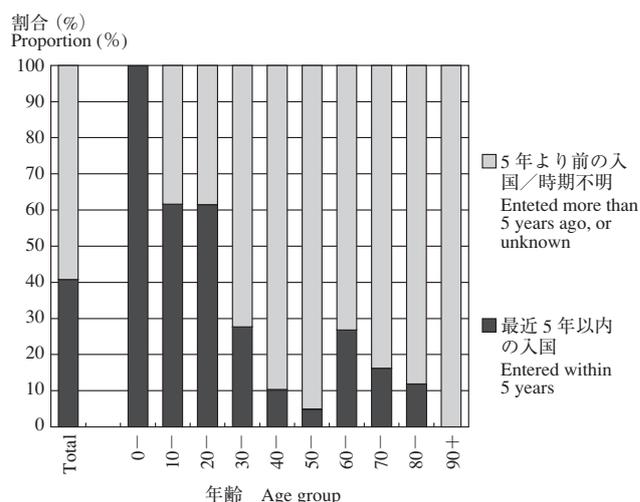


図4 外国生まれ結核患者の入院時期別割合、年齢階層別、2013年

Fig. 4 Proportion of foreign-born tuberculosis patients, by age group and time of entry to Japan, in 2013

表5 外国生まれ結核患者数および割合、出生国別、入院時期別、2013年

Table 5 Number and proportion of foreign-born tuberculosis patients by country of birth and time of entry to Japan, in 2013

総数 Total		最近5年以内の入院 Entry within 5 years		5年以上前入院/時期不明 Entry more than 5 years ago, or unknown	
総数 Total	1,064 100%	総数 Total	432 100%	総数 Total	632 100%
中国 China	292 27.4	中国 China	157 36.3	フィリピン Philippines	184 29.1
フィリピン Philippines	256 24.1	フィリピン Philippines	72 16.7	中国 China	135 21.4
ベトナム Vietnam	68 6.4	ネパール Nepal	43 10.0	韓国 Republic of Korea	47 7.4
ネパール Nepal	65 6.1	ベトナム Vietnam	39 9.0	ベトナム Vietnam	29 4.6
韓国 Republic of Korea	60 5.6	インドネシア Indonesia	36 8.3	タイ Thailand	23 3.6
インドネシア Indonesia	57 5.4	韓国 Republic of Korea	13 3.0	ブラジル Brazil	22 3.5
タイ Thailand	27 2.5	ミャンマー Myanmar	13 3.0	ネパール Nepal	22 3.5
ブラジル Brazil	23 2.2			インドネシア Indonesia	21 3.3
ミャンマー Myanmar	23 2.2			インド India	15 2.4
インド India	21 2.0			ペルー Peru	13 2.1
ペルー Peru	16 1.5			ミャンマー Myanmar	10 1.6
モンゴル Mongolia	14 1.3			台湾 Taiwan	10 1.6
台湾 Taiwan	12 1.1				
その他 Others	50 4.7	その他 Others	45 10.4	その他 Others	35 5.5
国名不明 Unknown	80 7.5	国名不明 Unknown	14 3.2	国名不明 Unknown	66 10.4

国名：10名以上患者発生届のあった国名を掲載 Only those countries with more than ten tuberculosis cases are listed.

結核患者の出生国は中国（157人、36.3%）が最も多いのに対し、5年以上前に入院または入院時期不明の患者ではフィリピン（184人、29.1%）が最も多かった。

(3) 職業分類別・年齢階層別外国生まれ患者数 (表6)

職業分類別外国生まれ新登録結核患者総数で、最も高い割合を占めたのは「他常用勤労者 (265人、25%)」、次いで「生徒・学生 (252人、24%)」「無職・その他 (224人、21%)」であった。男女別では、男性は「生徒・学生」(159人、34%)が、女性では「無職・その他」(143人、24%)が最多であった。年齢階層別では、15～29歳で「生徒・学生」、30～49歳では「他常用勤労者」が最も多く、

50歳以上では「無職・その他」が最多であった。

おわりに

わが国の新登録結核患者数は減少傾向にあるが、未だ年間20,000人以上の結核患者が発生しており、人口10万対全結核登録者数も16.1で、世界的には依然として結核中蔓延国とされている。結核患者は高齢者、社会的弱者、外国人や若者の一部など、一定のグループへの偏在化を認めているが、中でも全体の中で高齢者が占める割合は増加傾向にあり、2013年は全結核患者の57.4%を70歳以上の高齢者が占めていた。一方、2011年に前年から

表6 職業分類別外国生まれ結核患者数, 性別・年齢階層別, 2013年
Table 6 Occupation of foreign-born tuberculosis patients by sex and age group, in Japan, in 2013

年齢 Age group	総数 Total	接客業 Service trade workers	医療職 Health care workers	教員・ 保育士 Teachers/ Nursery staff	乳幼児 ・児童 Infants/ Children	生徒・ 学生 Students	他常用 勤労者 Other regular employees	他臨時雇 ・日雇 Other temporary/ day laborer	他自営・ 自由業 Other self- employed	家事 従業者 House- keepers	無職・ その他 Unemployed /Others	不明 Unknown
総数 Total	1,064 (100)	60 (6)	21 (2)	7 (1)	8 (1)	252 (24)	265 (25)	117 (11)	18 (2)	53 (5)	224 (21)	39 (4)
男 Male	468 (100)	16 (3)	6 (1)	4 (1)	1 (0)	159 (34)	137 (29)	41 (9)	8 (2)	—	81 (17)	15 (3)
女 Female	596 (100)	44 (7)	15 (3)	3 (1)	7 (1)	93 (16)	128 (21)	76 (13)	10 (2)	53 (9)	143 (24)	24 (4)
0-14	7 (100)	—	—	—	7 (100)	—	—	—	—	—	—	—
15-19	48 (100)	—	—	—	1 (2)	33 (69)	3 (6)	2 (4)	—	—	8 (17)	1 (2)
20-24	271 (100)	8 (3)	1 (0)	3 (1)	—	136 (50)	70 (26)	25 (9)	1 (0)	2 (1)	22 (8)	3 (1)
25-29	223 (100)	9 (4)	4 (2)	—	—	68 (30)	62 (28)	23 (10)	1 (0)	14 (6)	28 (13)	14 (6)
30-34	138 (100)	12 (9)	4 (3)	—	—	11 (8)	42 (30)	19 (14)	3 (2)	16 (12)	26 (19)	5 (4)
35-39	87 (100)	4 (5)	5 (6)	2 (2)	—	4 (5)	29 (33)	13 (15)	3 (3)	12 (14)	11 (13)	4 (5)
40-44	90 (100)	12 (13)	2 (2)	—	—	—	26 (29)	17 (19)	4 (4)	2 (2)	24 (27)	3 (3)
45-49	57 (100)	10 (18)	5 (9)	—	—	—	16 (28)	8 (14)	2 (4)	4 (7)	10 (18)	2 (4)
50-54	40 (100)	3 (8)	—	2 (5)	—	—	8 (20)	1 (3)	2 (5)	1 (3)	21 (53)	2 (5)
55-59	25 (100)	1 (4)	—	—	—	—	4 (16)	4 (16)	1 (4)	—	13 (52)	2 (8)
60+	78 (100)	1 (1)	—	—	—	—	5 (6)	5 (6)	1 (1)	2 (3)	61 (78)	3 (4)

(%)

比較して著増した新登録潜在性結核感染症患者数は、2012年以降、減少傾向にある。

わが国の外国生まれ新登録結核患者数とその割合は共に増加傾向にあり、特に20歳代においては外国生まれの結核患者が4割を超えている。学生であれば学校における結核検診の対象となるが、就労者、特に臨時や日雇いの労働者の場合、結核検診へのアクセシビリティは必ずしも保障されていない⁸⁾⁹⁾。また、外国生まれの結核患者は治療途中で帰国となるなど、治療中断も少なくない¹⁰⁾。2014年春より政府は、人手不足が深刻な建設業界に限って外国人労働者の受け入れを拡大する緊急対策を進めており、その一環として「外国人技能実習制度」の見直しがされている¹¹⁾。これによると旧制度下では滞在期間は最長3年間で再入国は認められていなかったが、見直しの結果として法相指定の在留資格「特定活動」で2年間の延長が認められ、また再入国も認められることとなる。アジアを中心とした外国人労働者が一時的に大きく増加する可能性があり、今後結核患者に占める高蔓延国生まれの患者はさらに増加していくことが予想される。早期発見、および治療中断・脱落を防ぐためのさらなる対策強化が求められる。

文 献

- 1) 結核予防会：「結核の統計2013」, 結核予防会, 東京, 2013.
- 2) 厚生労働省：結核に関する特定感染症予防指針（平成19年厚生労働省告示72号）. (2014年9月26日閲覧)

http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou03/dl/zenbun.pdf

- 3) 平成25年結核登録者情報調査年報集計結果（概況）. 参考資料5-6. (2014年9月30日閲覧) <http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou03/13.html>
- 4) 厚生労働科学研究（新型インフルエンザ等新興・再興感染症研究事業）：罹患構造の変化に対応した結核対策の構築に関する研究（平成20～22年度）研究代表者石川信克：「感染症法に基づく結核の接触者健康診断の手引き」, 改訂第4版.
- 5) 厚生労働省：結核に関する特定感染症予防指針の一部改正について（健感発0516第1号）.
- 6) 日本結核病学会予防委員会・治療委員会：潜在性結核感染症治療指針. 結核. 2013; 88: 497-512.
- 7) 厚生労働省健康局結核感染症課長通知：活動性分類等について. 健感発0128第1号, 2010年1月28日.
- 8) 沢田貴志：働く人と健康 診療所医師の立場から 外国人労働者の健康問題. 公衆衛生. 2010; 74: 8: 697-700.
- 9) 山口綾子：結核患者を中心とした在日外国人の健康管理の必要性和看護職の役割. 東邦大学医療短期大学紀要. 1999; 13: 71-81.
- 10) 日本結核病学会国際交流委員会：在日外国人結核全国実態調査2008年—治療途中で帰国してしまったケースを中心に. 結核. 2012; 87: 591-597.
- 11) 第6次出入国管理政策懇談会・外国人受け入れ制度検討分科会：技能実習制度の見直しの方向性に関する検討結果（報告）. 平成26年6月. (2014年9月30日閲覧) <http://www.moj.go.jp/content/000123755.pdf>

— Report and Information —

TUBERCULOSIS ANNUAL REPORT 2013

— (1) Summary of Tuberculosis Notification Statistics and Foreign-born Tuberculosis Patients —

Tuberculosis Surveillance Center (TSC), RIT, JATA

Abstract This is the first in a 4-series report based on the Tuberculosis Annual Report 2013. It summarizes general tuberculosis (TB) statistics and gives an overview of foreign-born TB patients notified and registered in Japan in 2013.

TB notification has continued to decline since 2000, and a total of 20,495 patients with all forms of TB were notified in 2013, with a rate per 100,000 population of 16.1. The age of TB patients has increased, with 57.4% of all TB patients in 2013 more than 70 years old. The number of patients with latent TB infection drastically increased from 4,930 in 2010 to 10,046 in 2011, but has been declining since.

The number of foreign-born TB patients increased from 739 in 1998 to 1,064 in 2013; similarly, the proportion of foreign-born patients among all TB patients increased from 2.1% in 1998 to 5.4% in 2013. Foreign-born TB patients aged 20–29 years accounted for 42.7% of all new TB patients in the same age group in 2013. Among foreign-born TB patients, more than half were from China (27.4%) and the Philippines (24.1%). Younger patients were more likely to have entered Japan within the previous 5 years (61.5% and 61.3% of foreign-born patients in their teens and twenties, respectively). The largest occupational category was “regular

employees” (25%), which excluded service workers, health care workers, and teachers, followed by students (24%) and unemployed people (21%).

With the government relaxing restrictions on entry of foreign workers to cope with labor shortage in the construction industry ahead of the 2020 Tokyo Olympics, both the number and proportion of foreign-born TB patients is also expected to rise. Comprehensive programs are urgently required to ensure early diagnosis and treatment completion among one of the vulnerable populations in Japan.

Key words: Tuberculosis, Notification rate, Country of birth, Occupation

Research Institute of Tuberculosis (RIT), Japan Anti-Tuberculosis Association (JATA)

Correspondence to: Tuberculosis Surveillance Center (TSC), Research Institute of Tuberculosis (RIT), JATA, 3-1-24, Matsuyama, Kiyose-shi, Tokyo 204-8533 Japan.
(E-mail: tbsur@jata.or.jp)